

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東久留米市子ども家庭部保育幼稚園課
園名	東久留米市立まえさわ保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

体づくり～楽しく体をうごかさう～

<テーマの設定理由>

広い園庭やホール等、体を使って遊べる環境があり、日常から園庭遊び・散歩など体を動かして遊ぶことが大好きな子どもたち。常に自らの体を使いながら楽しさを追究する様子が見られる。体を動かせる環境を整え、足腰の筋力や体幹を鍛えるとともに足裏・手指を使い、柔軟な体づくりをしていき自らの体を自由に動かす楽しさを知っていく。

2. 活動スケジュール

リトミックで体を楽しく動かそう(8・10・12月)講師によるリトミック指導
アスレチックをやってみよう
リズムで共感
ダンシング玉入れ
パラバルーン

} 通年

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

園にある遊具と組み合わせながら、室内・屋外と工夫して設定した。
日々生活する場にもマット等設置し、日常の中で自然に体を使えるようにした。
年齢や、クラスの子どもの発達に合わせ、徐々に使う遊具や活動の幅を広げていく
リトミック講師による取り組み

準備したもの

鉄棒・ラバーリング・プレイフルクッション・ステップ平均台・マット・ウェーブバランス・飛び石マット・足裏マット・ベビーマルチパネル・タマゴマラカス・パラバルーン・やわらかクッションマット・鉄棒・玉入れ台

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

園にある遊具と組み合わせながら、室内・屋外と工夫してアスレチックあそびをした。足裏マットやクッションマット等設置し、日常の中で自然に体を使えるようにした。年齢や、クラスの子どもたちの発達に合わせ、徐々に使う遊具や活動の幅を広げていった。パラバルーンやダンシング玉入れ等リズムに合わせて体を動かして遊ぶ。リトミック講師による取り組み(年齢ごとに合わせた体の動きを楽しむ)

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

ホールいっぱいのアスレチックに興味津々。目をキラキラさせて、“おもしろそう”という表情の子どもたち。「楽しい！楽しい！」とつぶやきが聞こえ遊具の組み合わせを変えると飽きることなく遊び喜んでいました。保護者へ動画で配信し「楽しそうですね」という声がありました。(3.4.5才児クラス)

・平均台をつなげると「うわ～！なに？」と集まってきて、やってみると「もっかい！！」と繰り返し楽しんでいました。平均台を真っすぐにしたり、カーブをつけたり、違う遊具と組み合わせアスレチックのようにして変化させながら遊んでいます。(1・2歳児混合・2歳児クラス)



5. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

今回のテーマ『体づくり』の活動をとおして、体を動かす遊びに関心を持ち、遊具や環境の工夫で意欲もさらに高まることを感じました。乳児期に体の基礎となる動きを楽しみながら身につけていくためには環境作りや素材の提供が大事。様々な運動遊びでは子ども達のペースに合わせて難易度を調整することで「やってみたい」という気持ちが自然と引き出され、できた時の達成感が次の挑戦につながっていました子ども達が安心して挑戦できるよう環境を整え、個々のできた喜びを積み重ねていけるよう体づくりの保育を大切にしていきたいと思ひます。